

新登場!!

いよいよ本格化する、 高断熱化ニーズに向けて

製品 平成34年度目標値 0.03232W/(m・K) グリーン購入法適合製品
断熱材 熱伝導率 0.022W/(m・K) @TC0307071
F☆☆☆☆ λ22 R 2.3 50×910×1,820

建材トップランナー制度対象製品 平成34年度目標値 0.03232W/(m・K) グリーン購入法適合製品
押出法ポリスチレンフォーム断熱材 熱伝導率 0.022W/(m・K) @TC0307071
JIS A 9521 XPS3bD F☆☆☆☆ λ22 R 2.3 50×910×1,820

NER **スタイロフォーム™** **FG**
17021885J **ダウ化工株式会社**

DOW | OLYMPIC WORLDWIDE PARTNER **スタイロフォーム™** **FG**
火気厳禁 ノフロン 17021885J **ダウ化工株式会社**

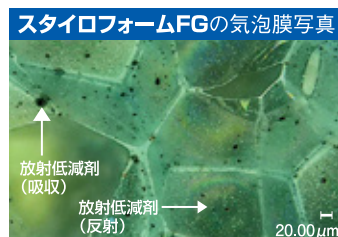
スタイロフォーム™ FG

JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bD XPS3bD

熱伝導率：**0.022** W/(m・K)以下

- 住宅金融支援機構の断熱材区分の最高断熱性能レベルであるFランクを実現
- 放射低減剤使用、及び、気泡形状の微細化

スタイロフォームFGと従来3種品の気泡および気泡膜の比較



✓ 従来のスタイロフォームの優れた性能を継承

スタイロフォームFGは、従来のスタイロフォームが持つ圧縮特性、酸素指数26パーセント以上、吸湿・吸水が少ない特性を有しています。

✓ ノフロン・ノンホルムアルデヒド・PRTR物質※不使用

ダウ化工の製品開発コンセプトのひとつである、「地球に優しい製品作り」に一貫して取り組み、ノンフロン・ノンホルムアルデヒド(F☆☆☆☆等級)・4VOC基準適合製品であるのはもちろんのこと、PRTR法の化学物質も使用しておりません。

※PRTR物質：有害性が疑われる化学物質、トルエン・キシレン・塩化メチレン・エチルベンゼン等

✓ 既存製品の約20%の厚み低減が可能

✓ マテリアルリサイクル可能

✓ グリーン購入法特定調達品目(断熱材)適合

ダウ化工

スタイロフォームFGの物性表

製品名		スタイロフォーム FG
JIS 種類	JIS A 9521	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bD XPS3bD
密度	kg/m ³	25以上
熱伝導率	W/(m・K)	0.022以下
透湿係数 (厚さ25mm当り)	ng/m ² ・s・Pa	145以下
圧縮強さ	N/cm ²	20以上
曲げ強さ	N/cm ²	25以上
燃焼性	—	3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しないこと合格
吸水量	g/100cm ³	0.01以下
加熱変形温度 ^{※2}	℃	80
線膨張係数	cm/cm・℃	7 × 10 ⁻⁵
酸素指数 ^{※1}	—	26以上
ホルムアルデヒド放散区分		F☆☆☆☆等級

物性値は、JIS、ASTMあるいはダウ法にもとづいた標準値です。

※1 酸素指数とは、材料を持続的に燃焼させるために必要な最低酸素濃度。26未満は消防法の取扱いにより指定可燃物となります。

※2 加熱変形温度は短時間における加熱状態を想定した試験です。高温での使用に関しては弊社までお問い合わせください。

省エネルギー基準^{*1}に基づく断熱厚み

■木造の住宅(充填断熱工法:その他の床)

			スタイロエース™-II	スタイロフォーム EX	スタイロフォーム FG
熱伝導率 (W/m・K)			0.028	0.024	0.022
部位	地域 ^{*2}	熱抵抗 R(m ² ・K/W)	mm	mm	mm
床 (その他の部分)	1～3 地域	3.3	95	80	75
	4～7 地域	2.2	65	55	50

*1 建築物省エネルギー基準の「断熱材の熱抵抗の基準」

*2 建築物省エネルギー基準による地域区分

<注意事項>

- スタイロフォームは、燃焼遅延剤を添加して、微小火源では着火しにくくしてありますが、燃える性質があります。保管、施工、特に溶接溶断に当たっては火気に十分ご注意ください。
- スタイロフォームは、多くのプラスチックと同様に紫外線によって劣化します。直射日光に長時間さらすと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さ減少等の原因となりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。
- スタイロフォームは酸、アルカリに対しては安定ですが、アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択及び木造住宅での防蟻・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問合せください。溶剤を使って作業する場合は十分に換気し、火気を使用しないでください。
- スタイロフォームの使用温度は80℃以下です。80℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用、高温になる場所での保管はさけてください。
- スタイロフォームは、局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。
- スタイロフォームは、軽量で取扱いが容易な反面、風におおわれやすいので、強風下での作業は行わないでください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

<その他の注意事項>

- (1) フォームの屑が目に入った場合は、こすらずに流水で洗浄してください。
- (2) 熱線スライス等の煙の発生する作業を行う場合は、換気を十分に行ってください。
- (3) 廃棄の際には、法令に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
- (4) 鳥・鼠・昆虫等によって損害を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

※カタログの内容、製品の物性や規格は予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせは



お問い合わせ / フリーダイヤル ☎ 0120-113210(イミズイロ)

<http://www.dowkakoh.co.jp>

●東京本社 ●大阪事務所 ●北海道営業所 ●東北営業所 ●九州営業所

わかりやすい技術情報や最先端の研究成果を紹介!
閲覧には会員登録(無料)が必要です

熱と環境

検索